

## 第4B(小)分科会 組織・運営に関する課題

提案主題 学校危機管理体制の確立に向けた教頭の役割

サブテーマ ～大規模校における緊急引き渡し訓練を通して～

協議の柱 保護者と連携して危機管理体制を構築するための教頭の役割はどうあればよいか。

提言者 大分市立下郡小学校 大島真美

### 1 質 疑

- (1) Q 昨年度、引き渡し訓練を行ってみたいの課題と本年度の計画は？  
A 方面別の引き渡しを考えている。
- (2) Q 訓練当日の欠席児童の把握は？  
A 地域別の名簿を作っているので、当日欠席者は把握できるようにしている。

### 2 協 議

- (1) マニュアルは大切だが、実際の場合には状況把握や判断をしっかりと行うことも大事。
- (2) 日頃から新しい発想を職員に情報提供をしておく。(例)他地区・他校の取組等。
- (3) 不審者侵入時の対応に関わっての課題→①不審者侵入時の連絡方法 ②メディアへの対応等
- (4) 緊急引き渡し時の対応に関わっての課題  
→①車対応(駐車場の確保や場所等の周知) ②GPS対応のメールの活用
- (5) 日常的なPとの情報交換→①家庭内での避難準備の啓発 ②教職員によるマニュアル点検
- (6) 外部との調整役は教頭の役割
- (7) 訓練後、マニュアルや引き渡しカードの見直しを行い、マンネリ化をさせない。
- (8) PTA組織の中に、「防災部」を位置づけてはどうか。実際、そのような学校もあった。

### 3 指導助言

- (1) 危機管理について
  - ① 学校の危機管理は何のため→子どもの命を守るため  
○子どもに対する訓練・提案 ○保護者への啓発 ○教職員の動きを組織立って行っていく。
  - ② マインドマッピング  
→自分で察知し、どうやっていくのかを問う→「自分の身は自分で守る」につながる。
  - ③ 事故別にカードを作り、いつでも使えるようにリングを付けて利用→どの学校でも使える工夫
- (2) 子どもの引き取りについて  
○災害時、保護者に子どもを迎えに来てもらうということだが、メールが使えない時はどうするのか。→「メールが使えるとき」「メールが使えないとき」の学校の対応を仕分けして伝えておかないといけないかなと少し感じた。
- (3) シミュレーションについて
  - ① 東日本大震災から考えて、南海トラフの時はもっと大きな被害がでると予想される。その前提でシミュレーションをしっかりとっておかなくてはいけないと考える。一方、「どこで引き渡すのか」「大雨の時にどこで引き渡すのか」など、場所の設定が難しいとも思った。
  - ② 「地震が起きた時は、親としてどうするのか」などについて、PTA懇談会の時に伝える。例えば、「こんな時、学校はこうしますので、ご家庭ではこうしてほしい」など。